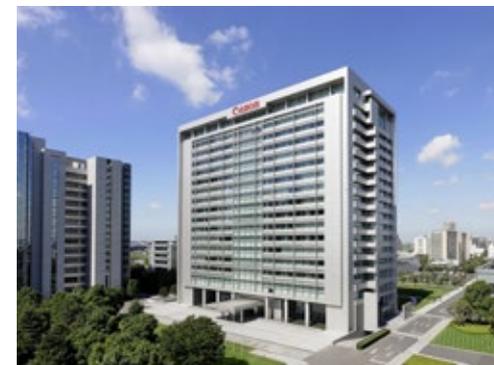


キヤノンの人材開発と社内講師養成の取り組み

小笹 剛 人事本部 人材・組織開発センター 主席
2021/2/22

会社概要

キヤノン株式会社 (Canon Inc.)



■ 設立

1937年8月10日

■ 資本金

1,747億6,200万円

(2019年12月31日現在)

■ 従業員数

(2019年12月31日現在)

連結 : 18万7,041名 (国内7万2,979名, 海外11万4,062名)
 単体 : 2万5,740名

■ 売上高

(2019年12月期決算)

連結 : 3兆5,932億9,900万円
 単体 : 1兆5,392億7,100万円

企業理念（1988年制定）

共生

世界の繁栄と人類の幸福のために
貢献していくこと

**Living and working together
for the common good**

行動指針 三自の精神

自 発

何事にも自ら進んで
積極的に行う

Self-Motivation

Take the initiative
and be proactive in
all things.

自 治

自分自身を
管理する

Self-Management

Conduct oneself
with responsibility
and accountability.

自 覚

おかれている立場・
役割・状況を認識する

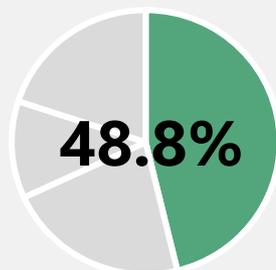
Self-Awareness

Understand one's situation
and role in all situations.

事業分野

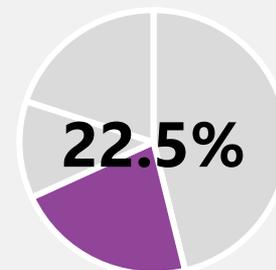
(2019年12月31日現在)

オフィス ビジネスユニット



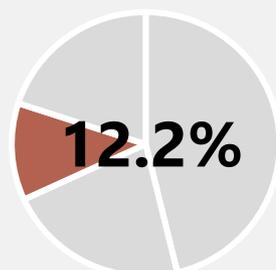
- ✓ オフィス向け複合機
- ✓ レーザープリンター
- ✓ デジタルプロダクションプリンティングシステム
- ✓ ドキュメントソリューション ほか

イメージングシステム ビジネスユニット



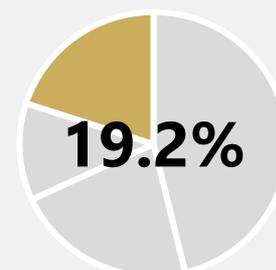
- ✓ レンズ交換式デジタルカメラ
- ✓ コンパクトデジタルカメラ
- ✓ 交換レンズ
- ✓ インクジェットプリンター ほか

メディカルシステム ビジネスユニット



- ✓ X線診断装置
- ✓ CT装置
- ✓ MRI装置
- ✓ デジタルラジオグラフィ ほか

産業機器その他 ビジネスユニット



- ✓ 半導体露光装置
- ✓ FPD露光装置
- ✓ 有機ELディスプレイ製造装置
- ✓ ネットワークカメラ ほか

※売上高には、上記に加えユニット間消去 - 2.7%があります。

人材開発の歴史

1930年代

1950年代

1970年代

1980年代

1990年代

2000年代

2010年代

2021現在

OJT教育

技能研修所

- ・独自技術の検定と研修整備
- ・教育訓練を体系化

キャノン研修センター

- ・自社オリジナル研修の開発
- ・事業多角化に伴う研修専門化・多様化

新体系

働き方改革

人事制度改革を支える 教育体系見直し

- ・経営幹部育成
- ・コーチング

組織・風土改革への着手

研修体系概要

	個人支援			組織支援
	階層別研修	ビジネススキル	技術・技能研修	
部長	・部長研修	・ヒューマンスキル	・技術分野別 習熟度別	・CKI
課長	・課長研修	・コンセプチュアル スキル	・モノづくり、 生産技術	・管理職支援
課長代理	・課代研修	・ビジネススキル	・生産革新	・チームワーク
一般社員	・役割等級別 階層研修	・語学		・社内講師養成
	・新入社員	・コンプライアンス		・コンプライアンス

研修内製化の利点

社内事例の共有

実際の業務中での経験
蓄積した社内の知見

実施回数の柔軟対応

研修回数や対象範囲など柔軟に対応
研修コスト削減

講師は受講者のメンター

継続的に受講生をフォローアップ
受講生の中から次の講師候補を選出

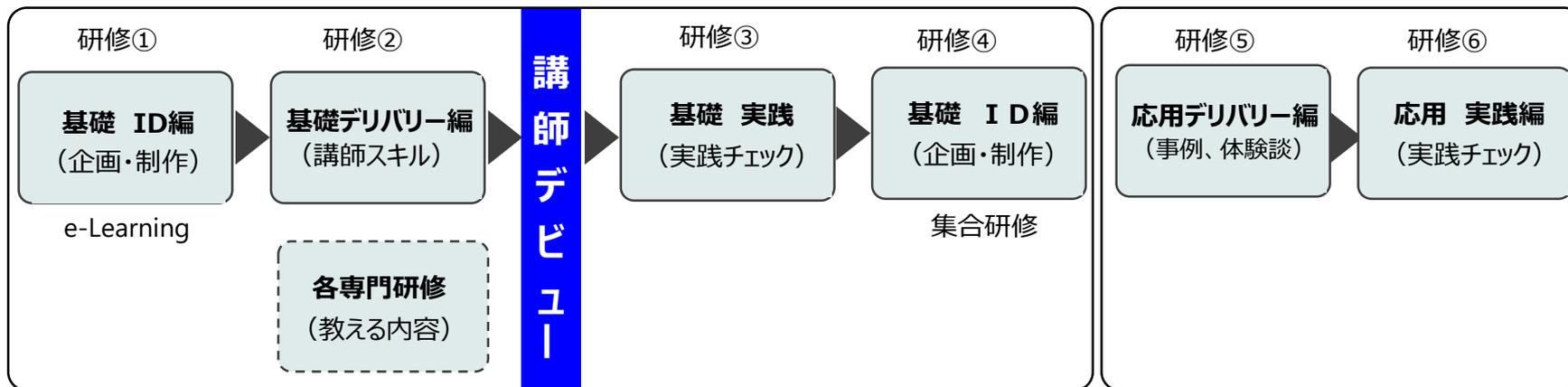
社内講師に必要な2つのスキル



社内講師養成の全体像

STEP1 : 基礎編

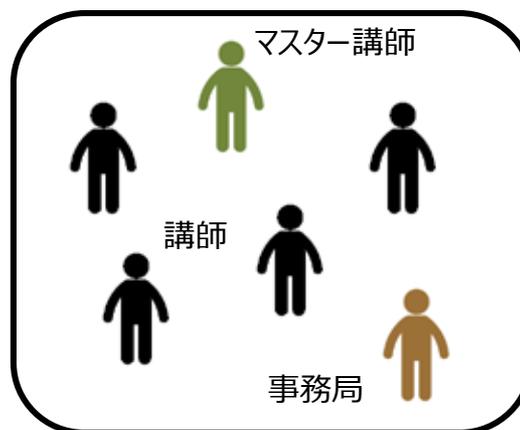
STEP2 : 応用編



STEP3 : 既存講師

【ID研修を受講】
同一研修のマスター講師、
主要講師、事務局

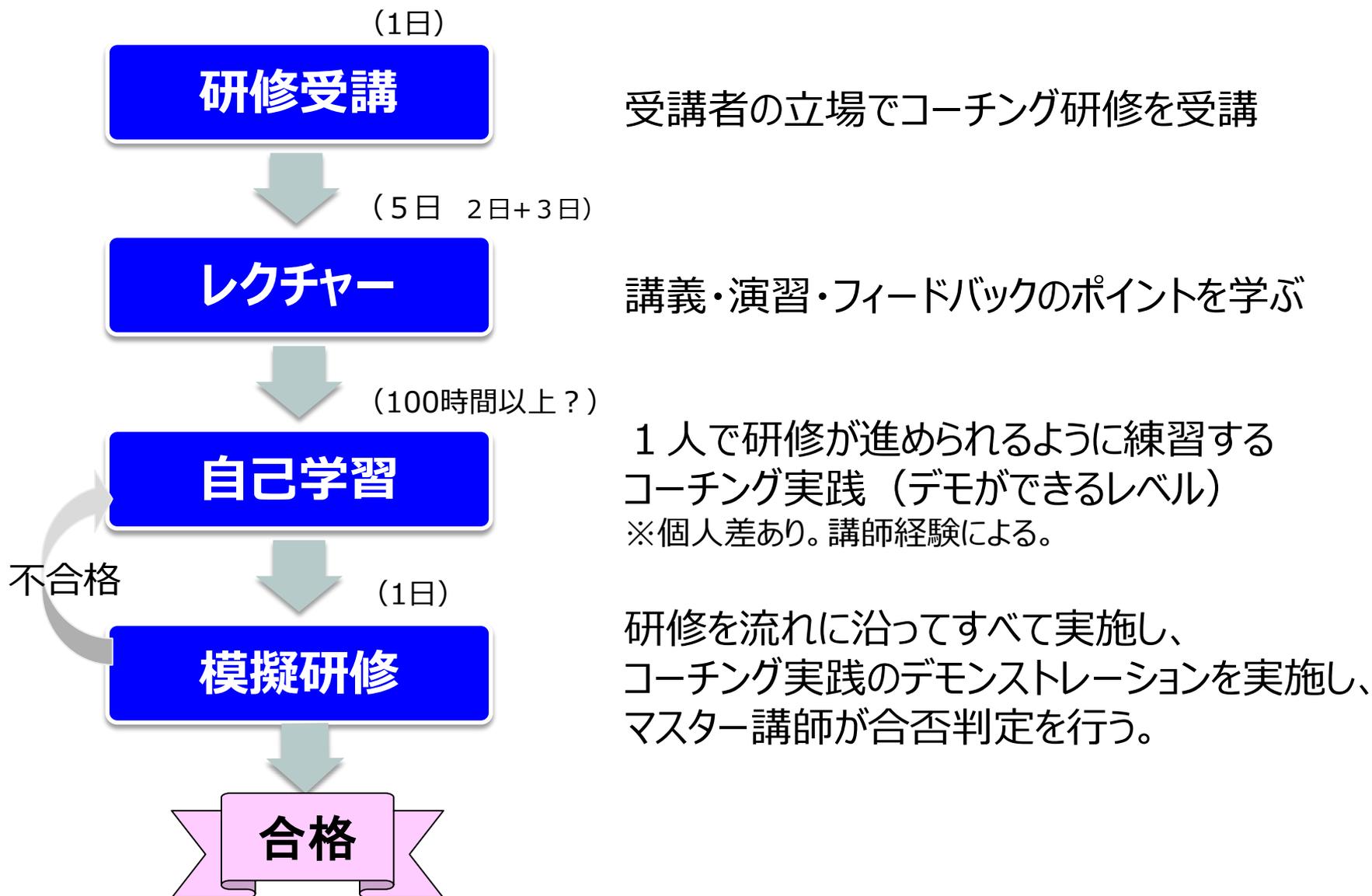
- ・ 研修ゴールの明確化
- ・ コンテンツ見直し
- ・ 効果測定方法の検討



【ID研修後】
マスター講師を中心に
ID研修で議論した項目を
ブラッシュアップする。

→ 実行 → 検証
(PDCAを回す)

社内講師養成プログラム例 コーチング研修



社内講師への支援

講師合格証・認定証



講師感謝状

感謝状

あなたは2020年度以下の研修を実施するにあたり講師またはコンテンツ製作において多大なる貢献をいただきましたのでここに感謝の意を表します
「機械系専門基礎研修 モールド加工技術初級講座」

2020年11月
人事部 人材・組織開発センター
所長 〇〇 〇〇

年末に発行し、所属部門長から組織全体会などで渡してもらう

社内講師支援サイト

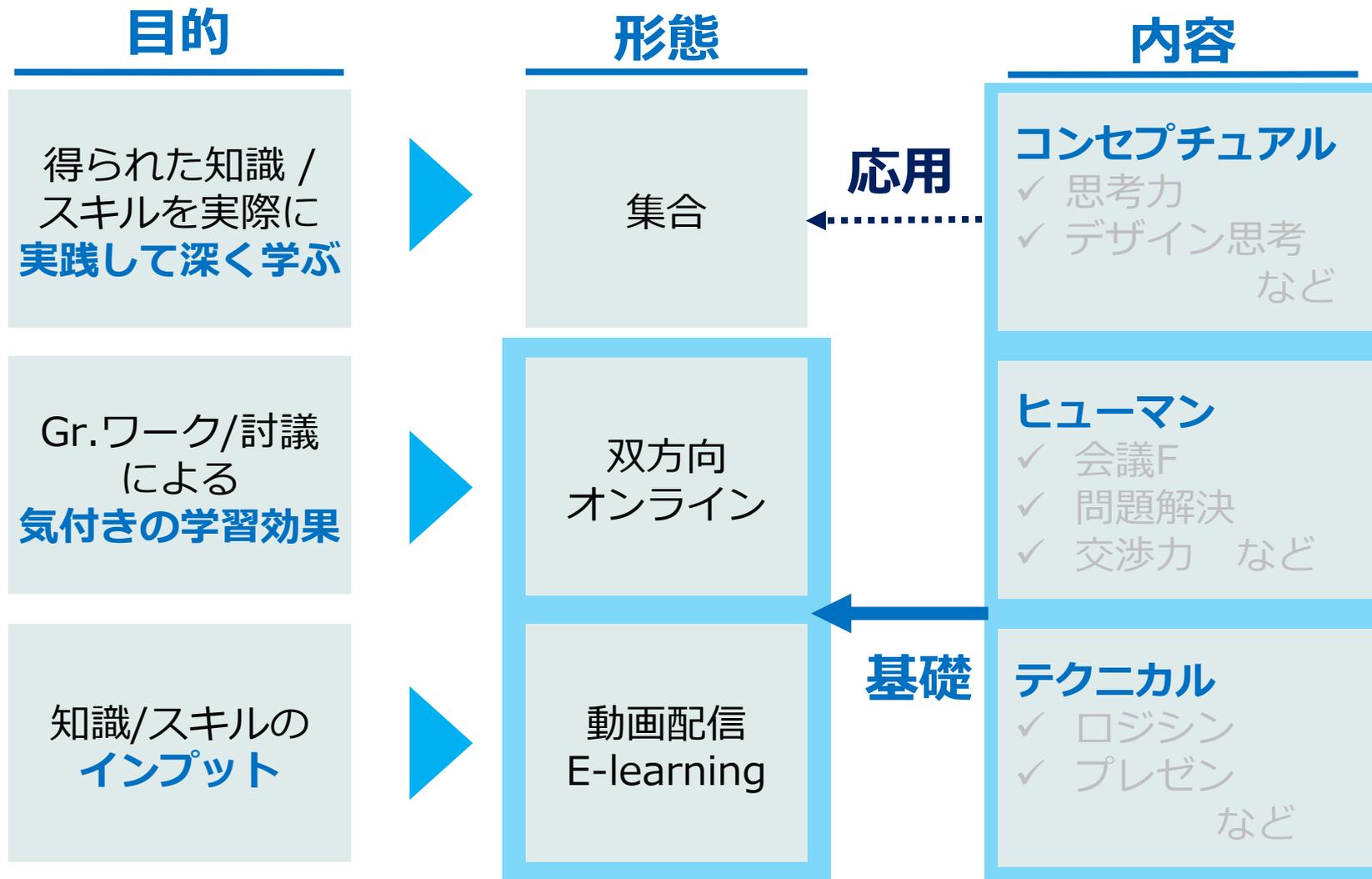


WEB図書館

社内講師が継続学習するための専用書など1,000冊以上を社内講師専用貸出

コロナ禍での社内研修再構築

集合研修から、目的に応じて**有効な開催方式**に変更



新たな研修対応に求められるもの

研修開催形態の変化に応じて必要なスキルが変化

形態

集合

双方向
オンライン

動画配信
E-learning

■ オンライン講師養成プログラム

研修開催環境

オンラインツールの習得

コミュニケーション（効果的な進行）

TIPS

：

■ オンライン研修受講プログラム

オンライン研修参加のグランドルール

研修参加環境

研修ツールの使用方法

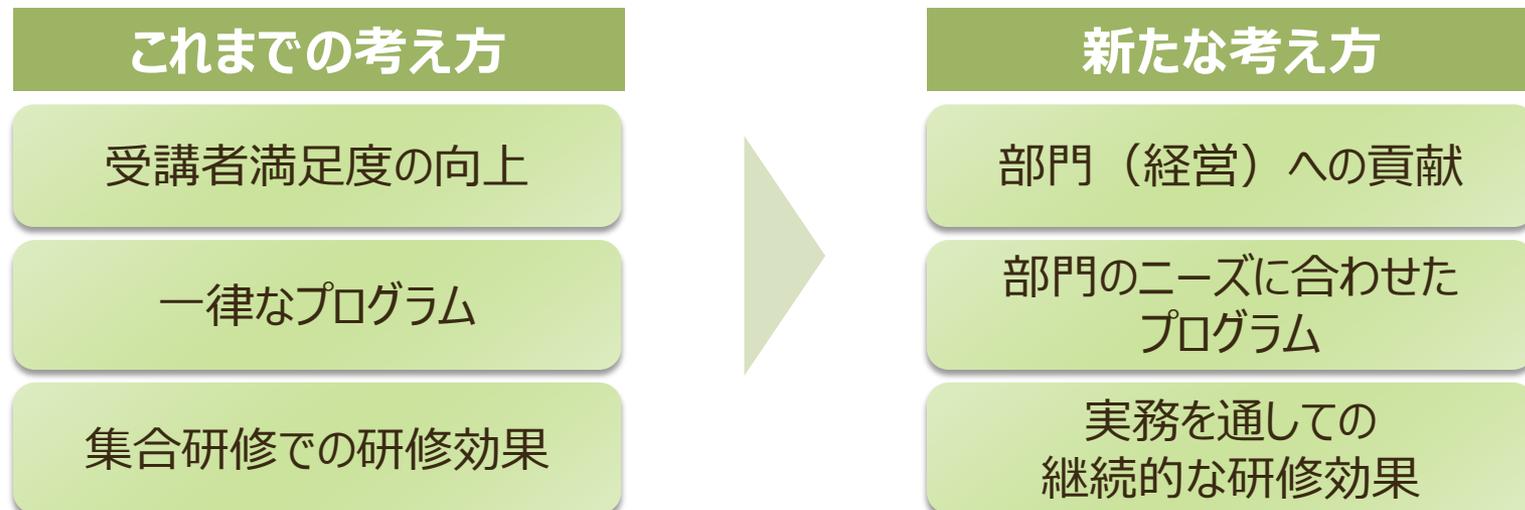
個人ワークの参加方法

グループワークの参加方法

：

今後の人材開発の方向性

集合研修で個人の能力向上 → 職場実践教育で組織に貢献



部門で実践教育できる研修体制づくり



ご清聴ありがとうございました